

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea, SETOUCHI

Vol.
119

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI” 世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2026年6月12日
発行：せとうちDMO
発行人：小原・富田
住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

瀬戸内Finder

<https://www.setouchi.travel/jp/>

Asia-Pacific Superyacht Summit 2026 を誘致しました。

近年、アジア太平洋地域において、スーパーヨット市場が拡大しており、日本の瀬戸内海をはじめとする魅力的なクルージングエリアに関心が高まるなど、新たな観光需要として期待が高まっています。

スーパーヨットとは、全長24メートル以上の大型高級ヨットのことで、「海に浮かぶ高級ホテル」とも称され、スーパーヨットの滞在、周遊による経済効果は、年間87億円と試算(※)されます。

こうしたなか、昨年香港で開催されたAsia-Pacific Superyacht Summit の神戸開催を提案し、誘致に成功。国内外のスーパーヨット関係者が集まりました。スーパーヨットの日本誘致をめざして、せとうち関係者らによるセッションでは、多島美、食、歴史などせとうちの魅力を紹介し、新たなクルーズ destinations としてのせとうちの認知拡大を図りました。

2027年春頃にはSUPERYACHT BASE KOBEの開港が予定されており、スーパーヨットの受入環境がさらに充実します。せとうちDMOでは、今後もスーパーヨットの誘致にとどまらず、コンシェルジュ機能の強化など、観光地の質の向上に取り組みます。

(1) 開催概要

日時:2026年5月7日~8日

場所:ラ・スイート神戸オーシャンズガーデン

主催:Superyacht Times (本社:オランダ)

参加者:約200名(業界リーダー、ヨットオーナー・顧客、主要関係者等)

(2) プログラム(一部抜粋、登壇スピーカーはDMOによるアレンジ)

<1日目>

・アジア太平洋スーパーヨット・レポートの紹介

・スーパーヨット運航の地域拠点としての神戸(セッション①)

一般社団法人淡路島観光協会 代表理事 /

株式会社ホテルニューアワジ 代表取締役社長 木下 学 氏

新西宮ヨットハーバー株式会社 代表取締役社長 種池 寛 氏

株式会社パソナグループ 取締役副社長執行役員 南部 真希也 氏

神戸市 港湾局 ウォーターフロント再開発部長 白波瀬 浩司 氏

・スーパーヨットの寄港地としての日本の発展(セッション②)

株式会社クリエイション 代表取締役 新谷 幸雄 氏

Yacht Zoo Nigel Beatty 氏

環境省 中国四国地方環境事所長 坂口 芳輝 氏

香川県 交流推進部長 西尾 徹 氏

・海外の造船所がアジア太平洋地域に投資する理由

<2日目>

・アジア太平洋地域におけるスーパーヨットに適したマリーナ整備

・スーパーヨットのキャプテンが語るアジアでのクルージング

・日本のビジネス文化と超富裕層市場のトレンド分析



神戸マリーナ(建設中)に停泊中のスーパーヨット



せとうち関係者らによるセッション

(※)スーパーヨット40隻が2か月間滞在、周遊した場合の直接・間接の経済効果(せとうちDMO試算)

瀬戸内海汽船 新造高速船「AIVINT」の試乗会が開催されました！

5月22日（金）に広島港（宇品）にて瀬戸内海汽船の新造高速船「AIVINT」の試乗会が開催されました。当日は、招待された広島エリアの運航企業の関係者と一緒に、広島港を出港して30分程度、周辺の海域を巡りながら、その乗り心地を体験しました。

「AIVINT」は、ドイツの推進器メーカー“フォイト社”の「フォイト・リニアジェット」と瀬戸内クラフト株式会社（広島県尾道市）が建造しており、推進性に優れた船型を採用することで、燃費性能と高速性能を両立し、環境に優しく、速くて快適な船旅を実現しています。

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションは、株式会社せとうち観光パートナーズが運営するファンド（せとうち観光活性化2号投資事業有限責任組合）の管理を受託しており、他ファンド2社と共同で、瀬戸内海汽船が発行した第6回無担保社債を引受け、「AIVINT」の建造を資金調達面からサポートしました。

瀬戸内海汽船は、せとうちエリアにおける地域交通を長年支えてきた事業者であり、また今後、せとうちの観光消費の拡大を目指すうえで必要な「2次交通」の担い手です。

地域事業者と連携し、エリア開発を進めることで、瀬戸内海汽船の更なる成長を引き続き支援してまいります。

ぜひ、広島↔松山間の移動には、「AIVINT」の船旅をご利用ください！



「AIVINT」※瀬戸内海汽船株式会社 提供

SPEC	乗客	車	Wi-Fi	充電	ペット	ライフジャケット	情報
船種：高速船	最大搭載人員：99名	総トン数：約120トン					
船体：全長31.5m	全幅7.0m	深さ2.6m					
推進器：フォイト・リニアジェット（独）							
エンジン：MTU（独）	進水年月：2026年4月						
デザイン：株式会社GKデザイン総研広島							
建造：瀬戸内クラフト株式会社							

「AIVINT」船舶スペック



AIVINTの船内



IWC (インターナショナル・ワイン・チャレンジ) 2026「SAKE部門」審査会の 関連イベントにブース出展しました!

インターナショナル・ワイン・チャレンジ (IWC) は1984年に設立された、世界的に最も権威あるワインコンテストの一つであり、2007年にはSAKE部門が創設されました。

2026年は、SAKE部門設立から20周年を迎える記念すべき年にあたり、日本三大酒処の一つである広島で審査会が開催され、21の国と地域から70名の審査員が広島に集まりました。当DMOも、せとうちの食や酒を中心にせとうちの魅力をPRしました!

IWC2026特設サイトはこちら → <https://iwc2026.sake-hiroshima.com/>



せとうちDMOブースでは、
本部長自らPR



国際色豊かな歓迎レセプション@東広島
久しぶりの再会で盛り上がる審査員



杜氏の声が染み渡る担ぎ込み

せとうちアカデミー報告

第138回:せとうちDMOが描く次の5年『せとうち観光成長戦略2026-2030』

2026年4月にせとうち観光推進機構の中期計画「せとうち観光成長戦略2026-2030」を公表しました。本戦略は、せとうちの広域観光を促進するための今後5年間の基本的な考え方とその戦略を示すものです。

今回のせとうちアカデミーでは、せとうち観光推進機構専務理事の坂元より、本戦略の策定や今後の方向性について内容を説明しました。



- ◆講師:(一社)せとうち観光推進機構
専務理事/事業本部長 坂元浩
- ◆日時:2026年5月28日(木) 14:00~15:00

【主な内容】

- ・せとうち観光が目指す将来像
- ・メインターゲットとして位置づける高付加価値旅行者層について
- ・「誘客戦略」と「地域の魅力づくり戦略」の考え方
- ・今後、地域/事業者の皆さまと連携して目指す方向性

【せとうち観光成長戦略2026-2030】

<https://setouchitourism.or.jp/ja/info/kankousennryaku260401/>

